

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前は売上ゼロの大変な状況で、それと比べれば8月は50%ほどにまで回復したため、相対的には間違いに良いが、絶対値としては依然として悪い。Go To Travelキャンペーンの効果はそれなりにあるようで、売上を前年比50%程度にまで押し上げてはいるものの、80～90%まで回復させるだけの影響はないようである。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑によりエアコン等、夏物商材の販売が、非常に良くなっている。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・飽くまでも自粛していた3か月前との比較でやや良くなっているだけであり、現状は厳しい。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・当市で発行しているプレミアム付商品券の販売で、客の財布のひもが緩くなっている。実際、私もこれまで扇風機2台で夏を乗り切ってきたが、この機会に我慢していたエアコンを購入した。今後、12月にも第2弾のプレミアム付商品券が販売予定である。当店の8月売上は5%増、来客数は3%減となっている。イベントも余りなく、盆踊りも中止のなか、病院への野菜の納品、昼夜の弁当の宅配が増えたので助かっている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・4～5月は新型コロナウイルスの影響で悪かったが、それ以降はやや販売量が持ち直しているような気がする。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・肉食需要が高まっている様子で、買上点数が多くなっている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が最大であった4～5月に比べると、緊急事態宣言解除後から今月までは来客数、新車販売共に、回復傾向にある。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・比較対象が5月なので、それよりは上向いている。前年比では3割強落ち込んでいるが、落ち込み幅は縮小してきており、幾らかましになってきている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・5月の宿泊者数、売上共に前年比10%、つまり90%減という最悪の状況から、今月は前年比40%まで回復してきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言時と比べれば、客の動きは明らかに増加傾向にある。しかし、密を避ける動きなのか、10人以上の団体は非常に少ない。特に、法人利用がほとんどない。ただし、個人や少人数の利用は格段に増加傾向にあり、期待が持てる。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・レストランにおける客の動きは、7月に比べて10ポイント上昇している。また、宿泊も同様に10ポイント上昇しており、徐々に客の動きが良くなってきている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・4～5月は最悪で、4月が前年比47.5%、5月は同44.7%だった。その後、6月は同72%、7月は同74%と、やや回復してきているが、8月は恐らく70%ぎりぎりになりそうである。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・営業活動の量、内容共に、新型コロナウイルスによる自粛前の水準に戻りつつある。キャンペーンの効果もあいまって、問合せも月を追うごとに増えてきている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・団体ツアーは全滅で、一般個人客についても旅行控えて来客自体少ない上に、客が多いときは密を避けるために、来場者数を制限して営業しているため、例年の4分の1程度の来客数になっている。3か月前の営業自粛時と比べれば、売上があるだけ、ましという状態である。
	○	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・工期が遅れていた設計や工事が動き出し、仕事量は増えてきている。
○	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・3か月前に比べて、別荘の売買数が増えてきている。	

□	商店街（代表者）	来客数の動き	・今夏は新型コロナウイルスの影響で、短い夏休みや県外移動、帰省の自粛等、過去に経験したことのない景況である。駅前立地のため前年実績に届かず、この夏の新幹線乗車率並みの売上である。Go To Travelキャンペーンの恩恵はほとんどない。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑の影響でエアコンの売上は伸びている。いずれにしても必要に迫られた購入であるため、景気が良くなっているとは考えにくい。
□	一般小売店〔薬〕（経営者）	来客数の動き	・当店付近で新型コロナウイルスの患者が発生したせいか、更に来客数が少なくなっている。
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・当社はスーパーマーケットを経営しているが、内食需要は旺盛で、客単価が6%上昇している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・学校のリモート授業やオフィスのテレワーク等で、外に出る人の絶対数が減っている。
□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月はお盆休みが入るということで、多少上向くのではないかとみていたが、例年とは違い、皆、在宅というか移動しなかったため、思ったほど販売量が伸びなかった。少し厳しい状態が続いている。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、継続的に来客数が減少している。
□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当社から案内できる車検等は予定どおりに推移しているが、臨時的整備や板金修理、車両販売等が、前年実績を下回っている。上向く要因が見つからないのが現状である。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・一般整備と車検入庫台数は安定的に推移しているが、車両販売に関しては相変わらず厳しい。しかし、問合せ件数は増加傾向にある。
□	その他専門店〔貴金属〕（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、悪いまま変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、客の様子が変化する。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・ステイホームの影響か、新規加入が徐々にではあるが増えつつある。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前に比べれば客は戻り始めているが、夏休み期間だった今月は、前年までのようなにぎわいはほとんどない。やはり、夏祭りや花火大会等のイベントが軒並み中止で、お盆の帰省も慎重であったことなどの影響を受けているようである。
□	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は一段落しているが、相談は多く、相談内容も多岐にわたっている。
□	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・今年度は設備投資を見送る事業所が多く、来年度についても未確定のところが多い。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年、夏休みが過ぎて2学期が始まる時期には、靴やウェアを新しくして新学期を始めようということで結構売れたが、今年はほぼふだんの平日と変わらず、そういう傾向はなかった。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の拡大による各地の祭りやお盆帰省の見合わせで、来客数が減少し、客単価も伸びない。一方で、酷暑残暑が多少の追い風となっている。
▲	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・3か月前は緊急事態宣言が解除され、客の購入意欲や来客数等も回復し、景気が戻りつつあった。今月は新型コロナウイルスの患者数増加に伴って客の購入意欲や来店も減り、やや悪い方向に向かっている。
▲	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、いまだに新たなクラスターが発生している現状では、景気の先行きは暗いものになる。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・催事などの取りやめに加えて不要不急の外出自粛が人々の間で徹底して、買物を楽しむような人が街に出てこない。街なかには常に人の姿がない。

	×	スーパー（副店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる先の見えない不安のなかで、仕事も暮らしも今までどおりにはいかなくなる。今後は所得が減る人が増え、生活も守りに入ると予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客足がない。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がずっと続いている。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・景気が悪くなっている理由として、選択肢の全てが当てはまる。客が毎日どのように過ごしているのかが、今一番気になっている。本当に景気が悪く、困っている。
	×	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後、Go To Travelキャンペーンが始まり、一旦、客足や旅行需要は増えた。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の第2波に伴い東京都のキャンペーン除外が発令されると、客足もばたりと止まり、緊急事態宣言時と同じ状態となっている。夏休み等の旅行は自粛感が強く、足踏み状態で、旅行ニーズは少ない。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる経済の停滞で、悪くなっている。
	×	その他サービス 〔貸切バス〕 （経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、貸切バスの仕事はほとんどない。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品 製造業（経営者）	取引先の様子	・大口受注対応があり、一時的ではあるものの、助かっている。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注量は若干増加しており、やや良くなっている。
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注は下げ止まり感があり、客も落ち着きを取り戻しつつある。ただし、まだ受注には至っていない。
	○	新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で「今できることで、少しでも月次の赤字を減らしていくしかない。我慢するしかない」という取引先の話を複数聞いている。
	□	食料品製造業 （営業統括）	競争相手の様子	・個人客の増加は若干みられたが、バスによる団体の見学者は全くなく、苦戦が続いている。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、一旦は底を抜け出した感はあるが、水準はかなり低い。雇用面への不安がまだ払拭できない状況である。
	▲	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・販売額が前年同月比、目標比共に、未達で終わりそうである。市場予測でも前月実績を割り込んでいる。
	▲	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・今月は前年実績の約8割の受注である。プレミアム付商品券の発行があっても8割程度なので、やや悪い。
	▲	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響による経済活動の自粛で、観光業や飲食業が低迷しているが、緩やかな回復の兆しも感じている。
	×	食料品製造業 （製造担当）	取引先の様子	・生産量が落ち込んでおり、原材料が通常平均使用量の約半分にまでなっている。
	×	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・8月に入ってから旧盆を挟んで、新型コロナウイルスの感染者が全国的に急増したため、6月末から7月にかけて多少売上が戻ってきていた店舗も、再び売上が減少している。卸売は展示会が開催されても、新型コロナウイルスへの感染を恐れて、出展者、来場者共に減少している。年初から各種展示会を見据えて作り込んだ商材の在庫負担も重くのしかかっている。
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	求人情報誌製作 会社（経営者）	周辺企業の様子	・8月中旬以降、特に当地周辺で新型コロナウイルスの感染者数が拡大しており、求人は多業種で一層減少傾向にある。
	□	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・製造業や宿泊関連で休業が続いている。飲食関連でも収益が改善していない。

▲	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・求人はあるものの、採用決定に慎重で時間を掛けている様子である。求職者への合否が遅くなり、チャンスロスが発生している。
▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人が大きく減少している。緊急事態宣言解除後、求人が戻りかけた卸、小売業や宿泊、飲食業等からの求人が出なくなっている。製造業も一部を除いて、非常に少ない。
×	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・良い要素がない。